

製品名: NUB1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14949**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	NUB1
別名	NUB1; NYREN18; NEDD8 ultimate buster 1; Negative regulator of ubiquitin-like proteins 1; Renal carcinoma antigen NY-REN-18
遺伝子 ID	51667.0
SwissProt ID	Q9Y5A7
免疫原	抗血清はヒト NYREN18 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 566-615

背景

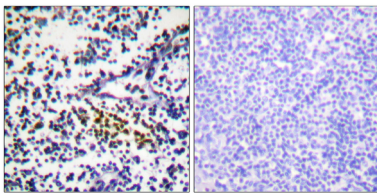
この遺伝子は、重要な生物学的イベントを制御するためにカリンファミリーのメンバーと共役するユビキチン様タンパク質である

NEDD8 の負の調節因子として機能するタンパク質をコードしています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、NEDD8 とその共役体をプロテアソームにリクルートして分解することにより、転写後に NEDD8 共役システムを制御します。このタンパク質は、遺伝性網膜症であるレーバー先天性黒内障に関連する AIPL1 遺伝子産物と相互作用し、その遺伝子の変異はこのタンパク質との相互作用を阻害することがあり、これが病因に寄与している可能性があります。このタンパク質は、パーキンソン病やレビー小体型認知症のレビー小体、および多系統萎縮症のグリア細胞質封入体にも蓄積することが知られており、この異常な蓄積は α -シヌクレイノパチー病変に特異的です。選択的スプライス機能: NEDD8 結合システムの特異的ダウンレギュレーター。NEDD8 とその結合体をプロテアソームにリクルートし、分解を促進する。アイソフォーム 1 は、アイソフォーム 2 よりも効率的に NEDD8 の分解を促進する。誘導: β インターフェロンおよび γ インターフェロンによる。類似性: 3 つの UBA ドメインを含む。細胞内局在: 主に核内。サブユニット: NEDD8 および 26S プロテアソームの制御サブユニットである PSMD4/S5a と直接相互作用する。アイソフォーム 1 は、アイソフォーム 2 よりも効率的に NEDD8 に結合する。AIPL1 と相互作用する。組織特異性: アイソフォーム 1 は膵臓で、アイソフォーム 2 は白血球、肝臓、前立腺、骨格筋で発現が最も低い。

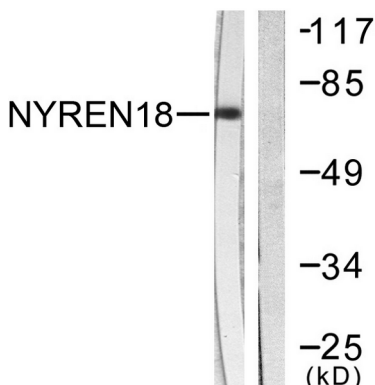
研究分野

細胞生物学; タンパク質分解 / ユビキチン; プロテアソーム / ユビキチン; プロテアソーム

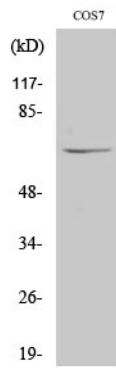
画像データ



NYREN18 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



NYREN18 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 に希釈した NUB1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。